

緑の風 FAX版

N O . 8 6 2021年4月29日 J R 東労組



JR 東労組ホームページ

5月1日は「メーデー」

8時間労働の歴史を考えよう！

◆メーデーとは？

12～14時間の長時間労働が当たり前だった1886年のアメリカにおいて、「8時間は労働に、8時間は休息に、そしてあとの8時間は自分の自由な時間のために」を求めて5月1日に労働者が立ち上がったことを起源に、世界的に労働条件改善を求めるようになった取り組みです。

激しい弾圧の中、流血しながらのたたかいの末、現在の「8時間労働」が確立されたのです。



コロナウイルス感染拡大防止のため開催形態が変更(YouTubeLive)となりましたが JR 総連・JR 東労組も参加しました。

◆長時間労働の改善は、まず「超勤を正しくつけること」

組合員の減少で36協定の締結権者が労働組合ではなく過半数代表となった職場が増え、団体交渉で総労働時間短縮の議論を行っていない職場が増えています。一方「月30時間を超えるから」と超勤を自発的につけない風土が起きつつあるとの声もあります。

長時間労働を改善し、本来の8時間労働で健康に働ける職場を目指すために、まずは「超勤を正しくつける」風土を創りましょう！



JR東労組としてチェック機能を発揮し、心身ともに健康に働ける職場を目指そう！